

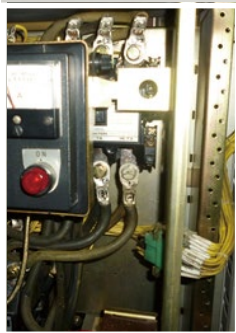
イノベーション部門

赤外線サーモグラフィによる機械・電気設備の状態監視保全

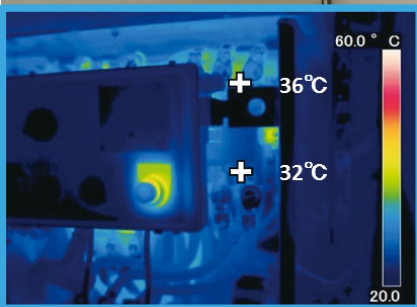
川崎市上下水道局

赤外線サーモグラフィによる施設の点検調査を試行開始しました

目視点検では、異常は確認されなかったが…



目視調査



正常時の温度

赤外線サーモグラフィでは

熱診断推進キャラ
サーモン



異常発熱を検知

PRポイント!

- 赤外線サーモグラフィは、熱画像によって、これまで目視等では検知することができなかった機器全体の温度分布を把握（見える化）することができるようになり、**効率的に不具合箇所の特定を行うことが可能**となります。
- 現在稼働している機器の熱画像を診断するため、**機器の分解や運転を停止することなく状態を定量的に評価することが可能**となります。

取組の効果!

- 赤外線サーモグラフィは、健全度評価が困難な機械設備・電気設備を**状態監視保全（予防保全）による維持管理へ転換することが可能**となり、効果的にリスク低減することができます。
- 機器の分解や運転を停止せずに、状態監視保全が可能となることから、**計画的に維持管理することができるため、維持管理コストの削減が期待**できます。

Key Person



等々力水処理センター
課長補佐 田鹿 幸徳

本市では、アセットマネジメントを推進するなかで、点検・調査が困難な設備は時間計画保全とせざるを得ず、課題を感じていました。

「赤外線サーモグラフィ」は、**設備停止や分解点検せずに健全度診断が可能であり、まさに求めていた技術**でした。現在は、まだ試行段階ですが、実際に異常発熱を発見し事故を未然に防ぐことができ、**本技術の有効性が確認できた**と考えています。

今後は、職員の力量養成と維持、運用に伴う実施体制の確立を行いつつ、効率的で効果的な施設維持管理に努めていきます。